



# 2016年度連続講座〈第2回〉

主催：全国障害者問題研究会滋賀支部

## 「この国に生まれてよかった、 この時代に生きてよかった」

講師 藤井克徳さん

(日本障害者協議会協議会代表・きょうされん専務理事)

藤井さんは、今年の4月から上記のタイトルで「みんなのねがい」に連載をしておられます。第1回目の4月号では、連載にあたって「一つお願いがあります。それは自身であれ、家族であれ、支援をしている人であれ、『障害のある人』を重ねながら読んでほしいのです。今に通じるメッセージを感じてもらえるにちがいありません。できれば本を素材に、職場で、地域で、学園で語り合ってください。こうした文章は書き手と読み手の共同作業で、その価値が増幅するとされています。」と記しておられます。

今回、藤井さんのお話をうかがい、みんなで語り合うことで、それぞれが抱える課題について一緒に考えたいと思います。

**日時** 2016年11月13日(日)13:30受付

**場所** 大津市ふれあいプラザ4F 大ホール

大津市浜大津4丁目1の1 明日都浜大津4階

### 日程

13:30 受付  
13:50 あいさつ  
14:00 講演  
15:30 質疑応答・全体討論  
16:20 まとめ  
16:30 終了

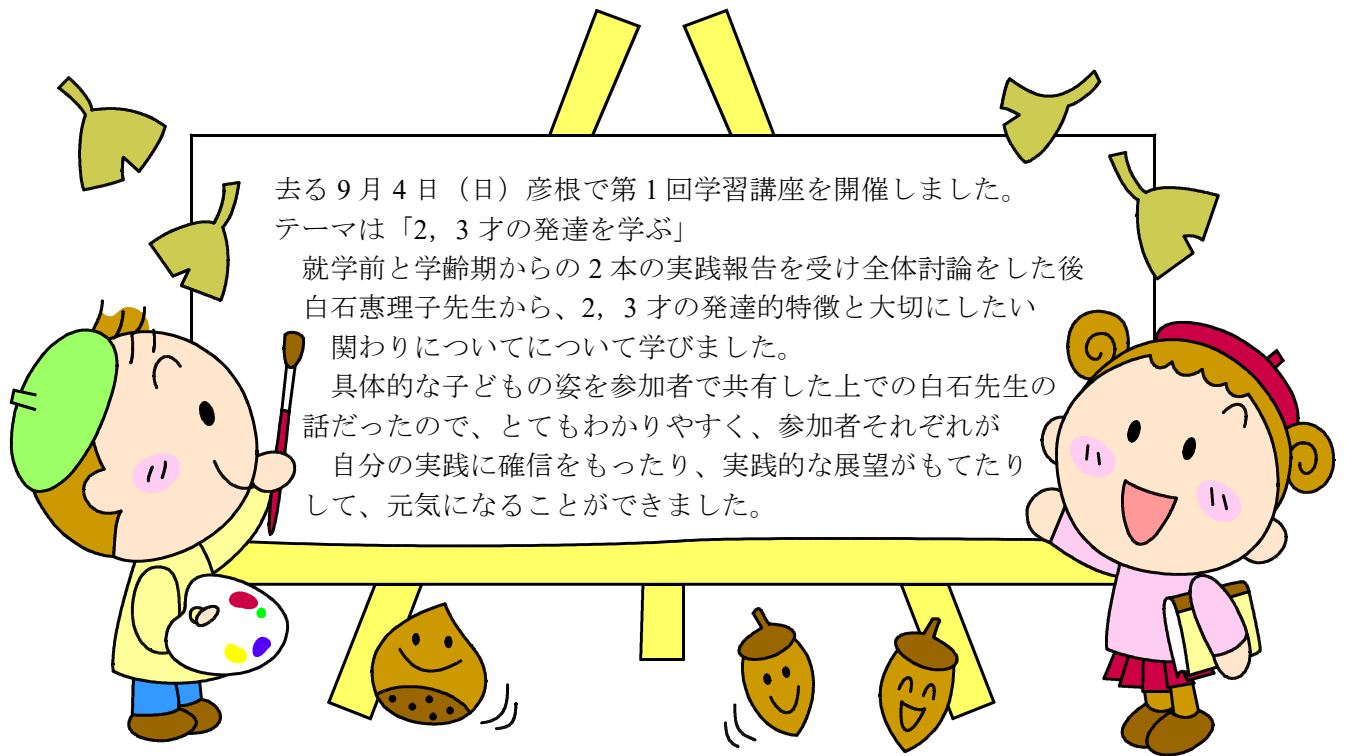
077 - 527 - 8351

### 今後の予定

第3回 2016年12月3日(土)午後  
テーマ「青年期の生と性」  
第4回 2017年2月19日(日)午後  
テーマ「保護者に学ぶ」  
第5回 2017年3月4日(土)午後  
テーマ「5,6才の発達を学ぶ」

**参加費** 会員:無料  
一般:500円

お問い合わせ先 事務局長 能勢ゆかり  
0748 (55) 1528 FAX 可 090-4903-9808  
E-mail n\_hanako@zeus.eonet.ne.jp



去る9月4日(日)彦根で第1回学習講座を開催しました。  
テーマは「2,3才の発達を学ぶ」  
就学前と学齢期からの2本の実践報告を受け全体討論をした後  
白石恵理子先生から、2,3才の発達の特徴と大切にしたい  
関わりについてについて学びました。  
具体的な子どもの姿を参加者で共有した上での白石先生の話だったので、とてもわかりやすく、参加者それぞれが  
自分の実践に確信をもったり、実践的な展望がもてたり  
して、元気になることができました。

## 参加者から寄せられた感想を紹介します

ちょっと今考えていたことの答えが、スポットと入る瞬間がたくさんありました。たくさんの先生方ががんばってくださっているのは、親としても楽しく&はげみになります。

うちも3才くらいなので、今ちょっと反抗期まっただ中で、ちょーぜつ、めっちゃ、むかつくのですが、本人はもっとむかっているんだろうなと初心にかえて向きあおうと(たぶん)思いました。(きっと…) 〈支援員〉

他の職種の事例が聞けたことはとてもよい勉強になりました。

また今自分がしている保育を白石先生が目の前で謎をひもといてくださって、本当にわかりやすく、自分のしていることで“よかったんだ”と思える瞬間にもなり来て良かったです。

〈保育士〉

保育士の先生や保護者も関わりで悩まれていることもあり、私自身も検査の時に不安になることもあったため、もう少し勉強したり、感覚を磨いていきたいです。〈発達相談員〉

2～3才の発達の特徴を事例を通して深められました。不安定な時期であることを逆手にとって「できない」ことにも、うまく楽しみながら挑戦していけそうな工夫も考えていきたいと思いました。

〈支援校教員〉

園や学校と異なり、作業所となると職員もかなり少なく、“働く”という部分でどうしても集団や時間をしぼる支援が主になっている。

2,3才の発達段階の利用者も多く、もめ事やトラブルも多々ある。支援の統一も難しい中の支援であるが、“働く”まえに発達の部分で個々が輝くようなくみも考えていきたいと感じた。〈作業所支援員〉

